

保護者の皆様へ

令和元年度 認定こども園評価(保護者)のお知らせ

令和2年3月19日
認定こども園 下館聖母

12月に「認定こども園評価」を実施させていただきましたが、保護者の皆様にはお忙しい中ご協力いただきありがとうございます。集計結果が出ましたのでご報告させていただきます。そして、この認定こども園評価を参考によりよい保育ができるように取り組んで参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

回答者全30名 (%)

項目	内容	評価結果			
		A	B	C	
自ら学び 自ら考える力を 育てる教育	1) 先生は、わかりやすい教育をしている。	97	3	0	★
	2) 園児は、製作(作ること描くこと)や文字(読み書き)に興味を持っている。	90	10	0	
	3) 園児は、正課・専門クラス(英語・体操・ピアノ・スイミング)を楽しみにしている。	82	8	0	
	4) 園児は、本を読むことを楽しみにしている。	70	27	3	
心の教育	1) 園児は、園に行くことを楽しみにしている。	93	7	0	
	2) 先生は、疑問や相談をよく聞いてくれる。	93	7	0	
	3) 先生は、良いことや努力したことをほめてくれる。	97	3	0	★
	4) 先生は、悪いことをしたとききちんと指導してくれる。	83	17	0	
	5) 園児は、園に仲良しの友だちがいる。	100	0	0	★
	6) 園児は、明るくあいさつしている。	80	20	0	
	7) 園では、楽しい行事が行われている。	80	20	0	
環境	1) 園児は、遊具を使った学びをしている。	83	17	0	
	2) 園は、清掃が行き届き、きれいである。	83	17	0	
	3) 園は、危険な場所がなく安全である。	57	37	6	◇
	4) 園は災害・避難訓練等を行い、園児の安全に関する適切な指導を行っている。	97	3	0	★
健康・体力	1) 園児は、外で元気に遊んでいる。	93	7	0	
	2) 園児は、給食を喜んで食べている。	93	7	0	
	3) 園児は、園生活のルールが身についている。	84	16	0	
その他	1) 家庭で、生活習慣や生活態度(あいさつ等)などの躰をしている。	83	17	0	
	2) 園は行事などの活動内容を、園・クラスだよりなどを通じて分かりやすく保護者に伝えている。	80	20	0	
	3) 来年度以降の運動会は従来通り、1日(お弁当あり)が良い。	43	37	20	

評価: A:よくあてはまる B:あてはまる C:あてはまらない
(とても良い) (どちらでも良い) (思わない)

< 総評 > ★…良かった点 ◇…改善点

- ★ 子ども達は園生活の中で、友達との関わりを持ち、仲を深めることが出来ているようです。今後も楽しく園生活を送ることができるよう、サポートしていきたいと思ひます。また、保育教諭として子ども達一人ひとりの個性を受け止め、育ちに寄り添ひ、引き続き丁寧な保育に努めたいと思ひます。
- ★ 避難訓練を通して地震や火事、不審者などの危険な事態になった時にどうすれば良いか、子ども自身理解し、行動できています。今後も、非常時の職員役割分担を徹底して、子ども達の安全を第一に考え、保育・指導していきたいと思ひます。
- ◇ 昨年度、ご指摘いただいた箇所(ももテラス前のコンクリート段差)は改善しました。他にも危険がないかを、職員は常に気に掛け注意しながら保育していきたいと思ひます。

～その他、ご意見・ご要望について～

- ◎園での行事も子ども達の元気な姿や一生懸命な姿を見られるので、楽しみにしています。
- ◎先生方の対応はとても丁寧で大変満足しています。
- ◎子どもに対し、真剣に向き合ってくれ教育してくれるので安心して園に通わせる事が出来ています。
- ◎園長先生や先生方が、いつも愛情を持って子どもに接して下さっているということが、行事や送迎の際、強く感じられて下館聖母に入園させて本当に良かったと日々思っています。
- ◎学年以外の先生方も気さくに声を掛けて頂き、また母と子も安心して登園しています。
- ◎先生方が笑顔で丁寧に子ども達と関わって下さっているので、子どもも先生を信頼し毎日とても楽しく登園しています。園長先生も朝の受け入れや子ども達と一緒に遊んで下さり、園全体で子どもと関わっていることに安心感があります。
- ◎今年は写真販売の回数が去年より増えたので、一度に見る枚数も少し減って良かったです。

運動会について

◎運動会の場所取りに並ぶ方法は今年の園舎下の方がスムーズで安全面でも良かったと思います。

- ・近隣の園では、今年からお弁当なしの運動会が多かったようです。延期になった場合のお弁当のことや土日休みではない親の仕事の調整等を考えると、来年度以降は半日で行って頂きたいです。(同意見3名)
ただ、その場合のプログラムがどうなるかにもよると思います。
⇒ **保護者の方全員にもアンケートをとって検討したいと思います。(令和2年度4月以降に)**
- ・運動会中止決定は早めの決定および連絡をしてもらえると助かります。
⇒ **出来るだけ早く連絡できるよう、努力します。**
- ・運動会のダンスで自分の子どもがだいたいどの辺りにいるか教えて頂けると写真を撮る時に助かるかなと思います。
⇒ **そのように、事前にお知らせしたいと思います。**
- ・プログラムだけでなく、こんな隊形に移動する、この辺りが年長・年中・年少と詳しく書いてくれると写真が撮りやすいとカメラマンさんが言っていたので宜しくお願いします。
⇒ **もう少し細かくカメラマンには伝えたいと思います。**

おゆうぎ会について

◎先生方が型紙を提供して下さい、スムーズに製作することができました。

- ・演目が変わっても入れ替え席に続けて座っている方が多くいらっしゃいました。手紙だけではルールが周知されていないようなので演技が終了後に入れ替わるように毎回アナウンスをして頂きたいです。
⇒ **全員の方が見やすいように、おゆうぎ会の流れを改善するよう、検討します。**

・衣装作りの負担が大きいです。役員を引き受ける→衣装作りのまとめ役をやらなければいけないというのが役員を引き受けてくれる人を減らしているように思います。裁縫が苦手な人からすると全員でホールに集まって作るというのは精神的に苦痛です。

・自分の子が使うものを各自、家で作る方が良いです。(同意見2名)

理由として…仕事や下の子の預け先がなくて参加出来ないのかもしれませんが、全く参加せず(だいたい2日目)がなくなるのも分かってあえて2日目だけの参加に○をする)人もいますので。

仕事も休まなくて済むし、精神的にも楽です。

・衣装作りは役員での事前準備があるので早めに生地や何を作るか教えてもらえると助かります。(同意見2名)

・先生は生地を少し多めに購入してくれてくれるとは思いますが、どう型紙を置いて裁断したらその分量で足りるのかも含め教えて頂けると助かります。(人によって型紙の置き方、どう生地をとるか考え方が違うと思うので、それが分かると効率が良くなると思います。)

・手作りにこだわりすぎず、多少は既製品などを使用することを検討して頂きたいです。外注も一つの手段だと思えます。こども園になり、今後どのような形で衣装作りを継続していくのか熟考すべき時期にきていると感じます。「助け合い」「子どもの為」と言われてしまうと心苦しい部分もありますが、無理のない程度で何らかの歩み寄りがほしいです。

⇒ 衣装作りの役員負担が大きいの意見が多くあったので、今後は衣装作りをやめて園にある衣装を使用したり職員が多くの衣装を作るのは難しいため、不織布やカラーポリを使っての衣装も検討したいと思えます。しかし、今まで代々作って下さった手作りの衣装は評判も良く、お母さん方の協力があったからこそ素敵なおゆうぎ会を行うことが出来ました。今後、衣装作りを本当になくして良いかどうかは次年度の役員さんとも相談し、検討していきたいと思えます。

・新年度の始めに名簿を配布されるが、名前だけ見ても新しい先生の顔と名前が一致しないまま時が経ってしまうので、新年度総会の時などに一言、自己紹介などがあると分かりやすいと思えます。(同意見2名)

⇒ 総会中は、保育を行っておりますので、園だより等で写真掲載の紹介をしたいと思えます。

・平日の園行事に小学生が参観に来るのは疑問です。家庭の考え方にもよるのだと思えますが、皆が混雑を気にして気を付けながら来ているのに…。あまり例がないことだと思えますが、疑問に思った方は多かったと思えます。

⇒ 平日の行事ですので、小学生の参観はご遠慮頂くよう、お手紙に記載します。

・駐車場から園までの間で、時々危険と思う行動をとっている保護者の方がいると思うので少し心配です。

⇒ 園としては、お手紙や掲示物にて年に数回注意を呼び掛けています。引き続き園からも注意していきます。モラルの問題もあると思えますので、保護者の方にも注意してほしいと思えます。

・園だより等、時々持ち物等について分かりにくい時があります。いつまでに何をというのを明確に別紙等でお知らせして頂けると分かりやすいかもしれません。

⇒ 分かりやすく、見やすくなるよう努力していきます。分からないことがある場合は、遠慮せずに聞いて下さい。

・上の子たちをみていて、もう少しピアノに力を入れても良いのではないかと感じます。

⇒ 現在の保育カリキュラムを踏まえると、月2回のレッスンは相応かと思えます。

- ・学童保育を是非やってほしいです。希望保育の時も給食を出してほしいです。
⇒ 学童保育を行う職員の確保が難しい状況です。今、現在、学童保育を行う見通しはたっていません。
- ・全ての人が遠慮をせずに自分の子どもが写っている写真を全部かえるようなら良いのといつも全員集合の写真などを見ると思います。
⇒ 遠慮せずにご購入して頂けたらと思っております。
- ・バスに乗車中、シートベルトを着用する時としない時があります。特に決まってはいないのでしょうか？
⇒ 大型バスには、もともとシートベルトがありません。小型バスはシートベルトを毎回着用しています。タイミングによっては、お子様が保護者の方に手を振ってからシートベルトを着用する場合もあります。
- ・園のカメラマンが親子遠足のイルカショーの写真が聖母の子ではなく違う小学生ばかり撮っていた。
⇒ このような意見があったことを業者にお伝えします。
- ・園での楽しい行事が減ったり縮小化されていてとても残念です。(秋の遠足・スイートポテト)
先生は大変かもしれないが、持続してほしい。(同意見2名) 減らした経緯について説明があっても良いのでは？
⇒ 家庭学級閉級式時にもお伝えしましたが、スイートポテト作りは、お店屋さんごっこと隔年で行います。ここ数年、それまで行っていなかった体験型の園外保育を実施してきましたが、同じ秋の時期に2回園外保育に行くことはカリキュラム的にも難しいという結果になりました。どちらか一方を選択するとなった時に体験型の園外保育を残しました。カリキュラムの見直しは毎年行っています。昨年と違う場合もありますが、ご了承下さい。

貴重なご意見ありがとうございました。

今回の評価結果を受け止め、これからのより良い園づくりに生かしていきたいと思えます。

ご協力、本当にありがとうございました。

令和元年度認定こども園評価(職員)取りまとめ

認定こども園 下館聖母

項目	内容	評価結果		
		A	B	C
1. 教育・保育計画	1)園の教育理念・教育方針の理解	17	9	0
	2)教育・保育過程の編成	19	7	0
	3)指導計画の作成	19	7	0
	4)環境の構成	19	7	0
	5)評価・反省・見直し	20	6	0
	6. 1)食について連携して食育活動をしている	19	7	0
	6. 2)献立に旬の食材を取り入れ、100%手作りしている	21	5	0
	小計	134	48	0
2. 教育・保育のあり方、乳幼児への対応	1. 1)朝の登園時視診を大切にしている	26	0	0
	1. 2)危険はないか常に観察している	25	1	0
	2)乳幼児のみとりと理解	23	3	0
	3)指導者との関わり	26	0	0
	4)保育教諭同士の協力・連携	24	2	0
小計	124	6	0	
3. 保育教諭としての資質や能力・良識・適正	1)専門家としての能力・良識・義務	21	2	0
	2. 1)良識とマナー	20	3	0
	2. 2)組織の一員としての在り方	18	5	0
	3)教育・保育の楽しみ・喜び	23	0	0
	4)自己評価	22	1	0
小計	104	11	0	
4. 保護者への対応	1)情報の発信と受信	23	0	0
	2)協力と支援	21	2	0
	3)守秘義務の遵守	20	3	0
	4)対応上のマナー・良識	23	0	0
	5)クレームへの対応の仕方	23	0	0
	小計	110	5	0
5. 地域の自然や社会との関わり	1)地域の自然・人々との関わり	21	5	0
	2)小学校との連携	17	9	0
	3)地域への開放と支援	25	1	0
	小計	63	15	0
6. 研修と研究	1)職員構成	22	8	0
	2. 1)各クラスの連携が円滑に行われている	24	2	0
	2. 2)緊急時に対応できる体制が整えられている	25	1	0
	3. 1)園内外の研修・研究を定期的に行っている	24	2	0
	3. 2)保育に関わる知識や技能向上のための研修	19	7	0
	小計	114	20	0
7. 総合評価	合計	649	105	0

A:とても良く行われている。よくあてはまる。

B:行われている。当てはまる。

C:行われていない。当てはまらない

参考:評価結果を客観的に判断するため、又、時系列で自身の進歩の状況を見るために、評価結果に係数を掛けて総合点で管理するのも一つの方法である。

A評価の数 × 2 = U	649A × 2=1298	例 13A × 2=26
B評価の数 × 1 = V	105B × 1=105	15B × 1=15
C評価の数 × (-1) = W	0C × (-1)=0	5C × (-1)=-5
今回の評価点=U+V+W	今回の評価点=1193	今回の評価点=36

<割合> A・・・86% B・・・14% C・・・0%

<良かった点>

- 職員は、一人ひとりの健康や安全に注意しながら保育ができています。
＜項目 2－1＞
- 職員は障害を持つ子も持たない子もありのままの姿を受け止め、保育ができています。
＜項目 2－1＞
- 職員は、乳幼児の一人ひとりを理解しながら、その成長を喜ぶことができています。
＜項目 3－3＞
- 園はクラスだよりを通して、子どもの様子や保育のポイントを知らせることができています。
＜項目 4－1＞
- 職員は、保護者や子ども・来園した方に対し、良識のある対応ができています。
＜項目 4－4＞
- 職員は、保護者の様々な訴え、要望、意見について、園長・副園長・主任などに報告しながら対応ができています。
＜項目 4－5＞

<改善する点>

- 園の教育保育理念や方針の理解が不十分である。
＜項目 1－1＞
- 小学校との連携（幼保小連や職業フォーラムへの参加）内容の周知が不十分である。
＜項目 5－2＞